

品処理 遺品処

高齢化社会でますます繁盛か 遺品処理サービス業の中身とは

全国初の「遺品処理」サービス業が注目を浴びている。ひとり暮らしの親が他界しても、遠方に住む子供たちは家の片づけをする時間がなかなかとれない。あるいはメンドーくさい。そこ

で、遺品の搜索に始まり、不用品と形見分けの仕分け梱包、家財の撤去、部屋の掃除、さらには部屋の消臭消毒、遺品の供養、不動産の売却までしてくる。「サービスを始めて2年半、約

2000件の申し込みがありました。葬儀後、遺族の方は精神的肉体的に疲れ果てています。そのお手伝いをしたい」と、「キーパーズ」社長の吉田

太一さん。もともと、引っ越し業やリサイクル業なので処分＆運搬のノウハウがあり、家財道具も販売してくれる。で、すべての処理にかかる平均的な費用は2DKの広さの家で20万〜30

万円。ただ、こんな例も。

「ご遺体の発見が遅れ、一戸建ての各部屋にはごみが天井にまで到達するほどたまって……。

あるお客さまのケースのご請求金額は約200万円となりました」
死後数週間〜数か月。家は死臭が充満しウジ虫もわく。今、こうした孤独死の後の「過酷な現場」の処理依頼は都内だけでひと月に10件はくだらないそう。